らいふ通信
ぷちらいふ
2007.夏
Vol.8

らいふ萩園
らいふ松林
らいふ神明

らいふ神明 萩原所長

今年2月（H19・2・1）、藤沢市鵠沼神明に『らいふ神明訪問介護ステーション』がオープンしました。茅ヶ崎の萩園、松林につづき3番目に開設した事業所です。今号では『らいふ神明』の萩原所長に訪問介護事業所についてお話を伺いました。

オープンから8ヶ月たちましたね。最近、介護業界では大手訪問介護事業所などの指定取り消し問題が報道されていますが、らいふ神明はどのようなサービスをめざしているのですか。（編）

萩原　湘南エリアを中心に地域に密着した訪問介護サービスを展開しています。もちろん法令遵守が大原則です。『らいふ神明』では、お客様の心に一歩でも近づく為、「暮らし方」を細かく知るように努力しています。最近ではサービスの多様化も求められていますので自費サービスの対応にも力を入れています。

具体的にはどのようなことですか？（編）

萩原　初回訪問時、サービス提供責任者がご自宅にお邪魔してご家族・ご本人から直接お話しを伺い、ニーズとサービス内容を確認させていただきます。サービス開始後も「小さな気づき」があればケアプランを作成しているケアマネジャーと緊密に連絡を取り、「訪問介護計画書」に反映させます。ヘルパーには「サービス手順書」を作成して申し送りを徹底します。こうしてスタッフ間でしっかりお客様の情報を共有し、どのヘルパーが担当しても統一したサービスが提供できるように心がけています。

初めてヘルパーを利用する人にとって、どんな人が担当するか不安に感じるという声をよくお聞きしますが？（編）

萩原　ヘルパーの教育には力を入れています。定期的に外部講師を招いた研修や内部勉強会を開催していています。その人らしく生きるための関わりを一番に考え、実践していきたいと思います。

定期研修の風景。今回はイエローホームズの池田さんを講師に迎えて、住宅改修について勉強しました

サービス内容やヘルパー利用について詳しくお聞きになりたい方はお気軽にご連絡下さい。

らいふ神明お問合せダイヤル
0466-28-1901

Medical check

恐い脱水症に注意しましょう！

　この暑い季節、高齢者は脱水症にかかりやすいと言われています。その原因の一つは、水の予備タンクとなる筋肉が若い人に比べて少なく、体内に水分をためる量が少ないからです。人の体の６０%は水からできています。汗、涙、尿、血液、リンパ液から皮膚の細胞にいたるまで、人間は水分なしでは作られず、体にとって大変重要な働きをします。
高齢になると感覚機能も低下して、あまりのどが渇かなかったり、お小水を気にして水分を自分で制限してしまう人もいます。
でも脱水症は、気付かずほっておくと数日で亡くなることもある恐い病気です。
　また、夏に限らず風邪をひいたり、激しい運動の後食事が食べられなかったときなどにも起こります。個人差はありますが、高齢者は1,300ml～1,500ml摂取することが理想といわれています。
目覚めに一杯、食前食後に、三時に･･･お茶を楽しみましょう。一日の生活であなたはしっかり水分を取れていますか？

■投稿 私の心に残る言葉

人には忘れ得ない言葉があるものだ。あの世に旅立たれた人の言葉はひとしおである。私には「母」「兄」の言葉がある。

母は肺がんで入院が決まったとき、見舞った私に『女は四十、五十、六十、が人生の華だよ。七十になったら歳はいらないよ。』と・・・それから一ヶ月ばかりでこの世を去った。

主人は正月に仮退院で家に帰ってきて、二人で静かな元旦を祝った。酒を酌み交わすとき私が、『今年の桜が咲く時分には退院出来るかも知れないわね。』やや間があって、『･･･長い間世話をかけたな。ありがとう。』の言葉を残し再入院。一ヵ月後、『家に帰りたい、帰りたい』といい続けながら亡くなった。

兄は先月、九十七歳に近い歳で亡くなった。頑丈な体だが、二十年前自分の五階建てのビルを建てるのに、ご近所への心遣いで耳の奥にヘルペスができて難聴の障害になってしまった。

それから紙による言葉になったが、私たちが声だして笑っていると、それを紙にかけと言う位勘が良かった。二ヶ月前体調を崩し入院。危篤で人が集まったら『明日は俺の通夜か』と皆を唖然とさせ一日おいて旅立った。

声ひそめ　思い出語る　酷暑なか

太田　照子

■編集後記

■6月28日、らいふ萩園のスタッフ坂井千香子さんに待望の女の子が生まれました。名前が『虹海』と書いてななみちゃんと読むそうです。夏祭りに遊びに来てくれたのでご紹介します。

■最近デイサービスのお客様に、御巣鷹山の墜落機事故を題材にした『沈まぬ太陽』（山崎豊子著）をお借りして読んでいます。戦前・戦中・戦後とさまざまな記憶が蘇る暑い夏ですね。

皆さまからの投稿おまちしています。（三島）

ぷちらいふ
2007秋にお便りを
お待ちしています！

らいふ萩園
デイサービス
居宅介護支援センター
〒253ー0071 茅ヶ崎市萩園2822 - 1
TEL0467 - 89 - 5277

らいふ松林
小規模多機能型居宅介護
〒253ー0017 茅ヶ崎市松林２ - 6 - 34
TEL0467 - 54 - 8591

らいふ神明
訪問介護ステーション
〒251 - 0021 藤沢市鵠沼神明２ - 12 - 16
TEL0466 - 28 - 1901

らいふ通信「ぷちらいふ」夏号Vol. 8
2007年８月15日（季刊発行）
編集／ぷちらいふ編集部
神奈川県茅ヶ崎市萩園 2822 - 1
〒253 - 0071　TEL0467 - 89 - 5277
発行／大勝建設株式会社介護事業部
神奈川県茅ヶ崎市中海岸1 - 1 - 58
〒253 - 0055　TEL0467 - 86 - 2600

らいふ通信
ぷちらいふ

普通の暮らしが普通に過ぎて行く、それがらいふ松林の日常です。

昨年12月にオープンしたらいふ松林（小規模多機能型居宅介護）も、春が来て夏を迎えました。小規模多機能型居宅介護は新しい在宅介護の姿として注目されながら、あまりその実態は知られていません。

今号では、利用されている皆さんが、らいふ松林でどのような生活をされているのか、その一部をご紹介します。春や気候のよい日は車で遊びに出かけます。茅ヶ崎市内はもちろん平塚の回転寿司や藤沢の大庭城址公園、長久保公園などにいきました。

また、外からも遊びに来てくれる人たちがいます。先日も明治学院落語研究会の学生に『らいふ寄席』を開いていただき、みんなで楽しみました。自分たちでも、ケーキを作ったり、クッキーを焼いたり、決して受身ではありません。いろんなことにチャレンジ精神を発揮しています。

藤沢の長久保公園にドライブ。

お天気の良い日は、テラスで足湯をしながら話に花が咲きます。

明治学院大学落語研究会のボランティア。『ぷっ！若い人の落語もなかなかいいねえ！』

藤沢の大庭城址公園にお散歩。あんまり気持ちが良くて、スタッフの笑顔もこぼれます。

おやつ作りも、楽しみのひとつ。

茅ヶ崎名所②

えぼし岩

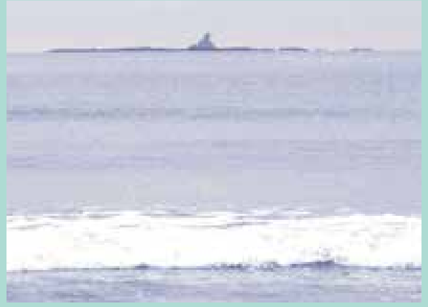
茅ヶ崎海岸の沖合い二キロの所に昔、公家や神官が被った帽子の形に似た岩があり、これを姥島といい、通称「烏帽子岩」と呼ばれて、市民から親しまれています。

歌の歌詞にもあります。

「♪砂まじりの茅ヶ崎　人も波も消えて　夏の日の思い出は・・・」で始まる「勝手にシンドバット」という歌で衝撃のデビューを果たしたサザンオールスターズの桑田桂祐の実家は、134号線の西浜中学の信号から少し入った所に今もあります。

「チャコの海岸物語」では「♪エボシ岩が遠くに見える　涙あふれてかすんでる・・・」と歌っています。

古く江戸時代に、この岩礁を巡って、相模の国と伊豆の国の漁民が領地争いしたといいますが、徳川幕府が相模の国に帰属することを承認しました。前回の旧相模川の橋脚と同じように、大正十二年の関東大震災でこの烏帽子の形と周辺の岩礁が大きく隆起しました。



もともと、藤沢の鵠沼から茅ヶ崎の柳島までの海岸一帯は徳川幕府の鉄砲演習場でした。終戦直前には米軍はヨーロッパ戦線のノルマンディー上陸の成功を模して、ここ茅ヶ崎海岸を東京攻撃の上陸場所に選定し、コロネット作戦と名付けた上陸作戦を密かに進めていたというショキングなことが講和条約締結後、明らかになりました。原爆の投下で終戦になりこの上陸作戦は幻に終わりました。戦後は米軍に南湖院などがキャンプ地として接収され、朝鮮戦争の頃、米軍が海岸で行った演習により烏帽子の形が変形したという、物騒な事件がありました。

今は平和な世の中になり、花火大会のフィナーレを飾る仕掛け花火がエボシ岩の付近で炸裂する様は見事なものです。昼間はサザンビーチのプールの傍の茅ヶ崎のCを形取ったモニュメントから見えるエボシ岩をバックに、多くの家族連れやカップルが写真を撮っています。また、ラチエン通りの開高記念館の前あたりから海の方をみると、道の先に幅一杯にエボシ岩が見える絶好な写真撮影のスッポトがあります。

日本に富士山が、藤沢には江ノ島があるように茅ヶ崎には、えぼし岩があります。平和のシンボルです。

（次回は別荘跡です）

らいふ歳時記
event

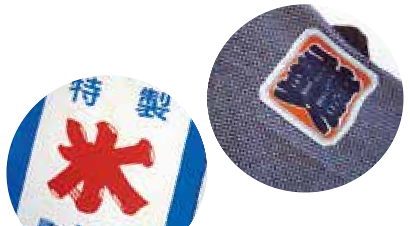
折りをつなげて渡し舟。根気の要る作品です。

萩園夏便り

ゴーヤ、大葉、サラダ用の葉物野菜、プチトマトなどが食卓に上ります。朝顔やお盆に仏様にお供えするミソハギも花をつけています。

今年らいふ萩園でとれたスイカを紹介します。大きいのが２個取れ、夏祭りに食べました。甘くてまずまずのできでした。

夏祭り



３回目となった萩園の夏まつり。今年もスイカ割り、ヨーヨー、輪投げ、くじ引きなど盛り上がりました。特に厨房では手作りのたこ焼きや焼き鳥などの屋台がでてお祭り漬けの１週間となりました。